

平成18年度学術ポータル担当者研修 中間報告書

同志社大学総合情報センター 27 相原竜一郎
28 井関 公子
29 原 健治

現在リハーサルプレゼンテーションを未開催のため、中間報告を送付いたします。開催後直ちに修正いたします。

(1) 発表資料の状況設定

リポジトリは構築済。現在は紀要のみ搭載されている。

神学部教授会の前に時間をもらい、リポジトリの概要説明と、紀要以外の文献（研究成果報告書等）の提供をしてほしい旨の要請を行う。説明対象となる神学部教授陣はリポジトリの存在を知っているかは微妙である。

(2) 発表内容抄録と研修当日の講師からの助言

(抄録)

同志社大学での研究成果については、学内のさまざまなサーバから公開されており一元化されていない。そのため研究成果の蓄積・保存・公開を目的に既存の学術資料電子化公開システムを学術リポジトリとして運用する。リポジトリへの登録により、データベースへの登録などによる視認性の向上、管理保存の簡便化、大学の説明責任が明らかになるなどのメリットがある。実際の登録の流れとして、著作権処理済のPDFファイルと内容注記シートを研究支援課に提出し、それをもとに図書館が作業を行う。

(講師からの助言)

- 話す速度が速い
- 専門用語が多い。JuNii や OAIster といった内容は、そのままだと理解されない
- 学問領域に応じたりポジトリの紹介がふさわしい

(5) 今後の予定

- 情報サービス課内研修でのリハーサル実施
- 研究開発推進機構各センターに対する登録説明
- 博士論文登録に関する説明
- 同志社大学学術リポジトリホームページの作成

以上